

研究テーマ：「村落史関連文書の収集・整理・公刊に関する日越比較研究」

本研究は、日越の近世村落史料研究の方法論の比較に基づき、ベトナムにおける村落史関連文書の収集、整理、公刊のより良い方法の探求を目的とする。

2006年5月14日～6月1日の間、日本を訪問し、以下のような調査を行った。

1. 慶應義塾大学・言語文化研究所を拠点として、まず慶應義塾大学図書館で資料調査を行い、近世村落史料研究の為の基本書籍及び『群馬県史』などの自治体史資料編を収集した。
2. 東京・鎌倉・川崎における史跡、江戸東京博物館、国立歴史民俗学博物館などを見学し、多様な日本近世の史料・史跡の保存方法と公開の方法を学んだ。

帰国後、日本で収集した資料を精査し、ベトナムにおける村落史関連文書の収集、整理、公刊の歴史について調査し、比較研究を進めている。現時点での暫定的な見解の概要は以下のとおりである。

- ①ベトナムでも地方政権レベルで多くの地誌が編纂されているが、資料編が付いていることは稀である。この点、日本の自治体史の編纂方針は大いに参考にすべきである。
- ②ベトナムでも村落史料を収集・整理した刊行物は多く出版されているが、「郷約 huong uoc」（日本の村定に相当する）と碑文に偏向している。この点でも日本の近世村落史史料の収集・公刊に見られるように、より多様な各種資料を総合的に収集・刊行する方向性を検討すべきである。
- ③上述②と関連するが、村落史料の調査収集の方法論について、一つの調査地点において、まず残存資料の網羅的な目録をまず作成することから始める日本近代史の調査方法は、現在のベトナムにとって極めて重要である。急速な経済成長の過程で多くの貴重な資料が失われていく危険性に直面しているからである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等) :
論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等) : 1. 「村落史関連文書の収集、整理、公刊に関する日越比較研究」 Dinh Khac Thuan 漢喃雑誌 2007年12月 2. 「日本近世の租税制度に関する考察」 Dinh Khac Thuan 歴史研究 2008年2月
書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等) :

以上